

6月3日(日)

不思議な魚を操って沈んだお宝リングを釣り上げよう 89名(子供46名 大人43名)

午前の部 子供27名 大人24名 計51名 午後の部 子供19名 大人19名 計38名

福井地震・避難訓練



これをダンゴムシポーズと命名



福井地震から70年に合わせ、毎月の治水講座の代わりに防災講座と避難訓練を行いました。館長から、地震は立ってられないほどぐらぐらと地面が揺れたこと、池田町から見た福井市は火災で真っ赤に染まっていたという体験を話しました。また八木さんも、お母さんやお姉さんの体験談を話しました。身近な体験談にみんなしっかり聞いていました。その後地震時の身の守り方を聞き、実践しました。福井新聞記者も取材に来館。翌日に掲載されました。



魚の話

魚は体の中に浮き袋をもっています。



魚は夜になると体内にある浮き袋の空気を抜いて水の底に沈み岩の間や草につかまって流されないようにして寝ます。朝になると水面に行き空気をすい浮き袋をふくらませるそうです。おもしろいね。

赤と青にめつたよ。かわいいでしょ!

お宝リングづくり

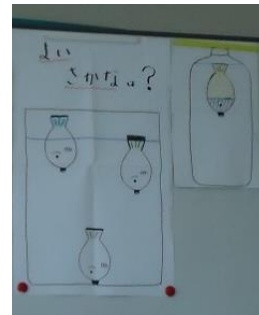


みんな夢中で お宝リングをつりあげていました。

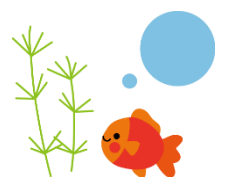
不思議な魚づくり



魚の形の醤油入れを使います。しっぽの先は必ずマジックインクで色をつけるなど注意点を聞きました。かわいい魚が、あちこちで生まれたよ。魚の口に釣り針になる針金をナットで固定しました。



魚ができたら 水中で浮き沈みする魚にするために 水を飲ませます。よい魚は、しっぽが少し水から出るくらいの魚です。お宝リングとよい魚を 水の入ったペットボトルに入れて できあがり!



さかなはなぜ浮いたり沈んだりするの?

ペットボトルの周りを押して圧力をかけると 魚の中の空気の体積が小さくなり浮力も小さくなって 魚は沈みます。手をはなすと体積が大きくなり浮力も大きくなって 浮き上がります。

(パスカルの法則とアルキメデスの法則で、この理由の説明ができます。)